

会議録

会 議 名	令和7年度 第2回 村上市総合計画審議会
開催日時	令和7年10月24日(金) 15:00～17:00
会 場	村上市役所 5階 第5会議室
出席者	<p>【委員】 青山委員、飯塚委員、佐々木委員、宍戸会長、仲委員、畠山委員、八藤後副会長</p> <p>【村上市】 須賀政策監、企画戦略課（山田課長、田村課長補佐、増子係長、山田主査、井上主任、安藤主事）</p>

議事内容	
事務局	1 開会 [進行]
事務局	2 挨拶 [進行]
会長	[あいさつ]
事務局	審議会について説明。 進行を宍戸会長に依頼。
会長	3 報告（1）令和7年度第1回総合計画審議会での意見に対する市の考え方 [進行]
事務局	[資料説明]
委員	<p>【4子ども(児童)の運動習慣】</p> <p>中学校女子生徒に、運動を積極的に行う子とまったく行わない子とで二極化が見られるとある。この傾向が特に中学校の女子に強く現れる理由は。</p>
事務局	<p>【4子ども(児童)の運動習慣】</p> <p>体力測定時の資料にある一週間の総運動時間を見ると、運動を全く行わない児童の割合は全国的に女子が高く、男子が7%であるのに対し、女子は30%以上となっている。</p>

議事内容	
会長	<p>【4 子ども（児童）の運動習慣】</p> <p>畠山委員はこの状況をどのように考えるか。</p>
委員	<p>【4 子ども（児童）の運動習慣】</p> <p>女子の方が運動部に所属する割合が低いことが、関係しているのではないかと考えられる。</p>
委員	<p>【15部活動の地域以降】</p> <p>「アフタークラブ活動」とはどのような活動か。</p>
事務局	<p>【15部活動の地域以降】</p> <p>地域クラブ活動に参加しない児童のスクリーンタイムが増えないように各学校で実施する活動。文化系や学習支援の活動に加え、地域クラブにない運動を希望する児童も対象とする予定。</p> <p>指導者は教職員や地域の方を想定しており、教職員が担当する場合は勤務時間内で対応することとしている。</p>
委員	<p>【1 横断的視点】</p> <p>以前の審議会で市は様々な分野の業務があるため、施策の優先順や横断的視点が弱いと指摘した。次期総合計画では横断的視点を明記するとあるのは評価する。</p> <p>また、各部署で横断的取り組みに対して再確認をする機会があれば良いのではないか。</p>

議事内容	
会長	3 報告（2）次期村上市総合計画・総合戦略策定のための実態調査 [進行]
事務局	[資料説明]
会長	<p>【市外在住者アンケート】</p> <p>市外在住者を対象としたアンケートは、村上市を客観的に把握するうえで良い機会だと思う。</p> <p>資料 2、3 ページに「登録モニター」に一齐にアンケートメールを配布とあるが、ここでいう「登録モニター」とは何か。</p>
事務局	<p>【市外在住者アンケート】</p> <p>「登録モニター」とは、民間の調査会社に登録しているモニター。登録者数は約 5, 0 0 0 人で、アンケートは登録モニター全員に一齐に配布し、回答者が 5 0 0 人に達した時点で締め切る方式で実施。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>資料 2、2 ページ(1)①に「前回調査と同一の設問を用いる」とあるが、これは全ての項目について前回調査と同じ設問を用いるという意味か。</p>
事務局	<p>【市民アンケート】</p> <p>アンケートは全 5 項目で、1 項目目のみ前回と同じ設問となる。その他の 4 項目は前回調査から内容が変更される。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>これからは若者が市を担っていく。若者の意見を施策に反映させることも重要。また、アンケートの 4 項目めに回答者の性別を選ぶ欄があるが、「男性」と「女性」の二択となっている。しかし、一般に約 1 0 %が L G B T であるとも言われているため、男女以外の選択肢として「その他」「回答しない」といった項目を設けることを検討してはどうか。他市の例でもそのような選択肢を用意している例もある。</p>
会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>市民アンケートに限らず、市役所の各部署で性別を聞く機会は多くある。村上市として、どのような方針で対応するかを検討する必要がある。</p>

議事内容	
委員	<p>【市外在住者アンケート】</p> <p>資料2、3ページに「流入者数が多い新発田市、新潟市の住民」とあるが、これは村上市民が新発田市・新潟市へ流入しているのか、それとも新発田市・新潟市から村上市へ流入する人が多いのか、どちらなのか。</p>
事務局	<p>【市外在住者アンケート】</p> <p>新発田市や新潟市から村上市へ流入する人が多いということを意味している。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>資料3、2ページには、32種類の政策分野について満足度と重要度を回答する項目がある。しかし、一般市民が各政策分野の具体的な内容や違いを理解した上で回答するのは難しいのではないかな。</p>
会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>設問が多すぎると、回答率が低下するおそれがある。また、各項目の重要度の評価は市民ではなく、市役所が主体となって行うべきではなか。</p>
事務局	<p>【市民アンケート】</p> <p>分かりやすく説明を付け加えると、アンケート全体のボリュームが増え、それによって回答率が低下するおそれがあるため、このような構成とした。政策分野ごとに短い説明を設けることも可能。</p>
会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>その方法では設問の内容が複雑になるため、適切ではない。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>項目を政策分野別ではなく、5つの基本目標別にしてはどうか。基本目標ごとに取り組み内容を記載し、まとめるのも良いのではないかな。</p>
副会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>設問は少なくしたほうが回答しやすい。項目が多すぎると、回答者は自分の興味ある箇所だけを選んで答えてしまう可能性がある。</p>

議事内容	
会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>項目が多いと、回答者は序盤は真剣に答えても、後半になるといい加減に回答してしまうおそれがある。項目は少なくした方が良いのではないかな。</p> <p>また、重要度の把握については、行政と市民のミスマッチがあるかを知りたいという意図は理解できるが、そのために市民へ直接問いかける方法が必ずしも適切とはいえないのではないかな。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>すべての項目に対して重要度を付けてもらうのではなく、回答者にとって重要だと感じる項目を選択する方式にしてはどうか。</p>
会長	<p>【市民アンケート】</p> <p>32ある政策分野の中から、重要だと思う分野を3～5項目選んでもらう方法はどうかな。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>選択する個数は多くしない方がいいと思う。別の調査で同じ方法を使って最大10個まで選べるようにしたことがあるが、実際に10個すべてを選ぶ回答者はほとんどいなかった。多くの人は1～2個程度を選んでいて。</p>
委員	<p>【市外在住者アンケート】</p> <p>市外在住者アンケートについて、登録モニターに加え、アンケート期間中に市内の旅館や観光施設、駅などでQRコードを配布して回答を募る方法を検討してはどうか。この方法では、村上市へ来た際の交通手段なども合わせて尋ねることができ、関係人口が物理的にどのような方法でつながっているのか見えてくるのではないかな。</p> <p>また、最近はAIの技術が進歩し、傾向分析まで可能になっている。集まったアンケート結果の分析には生成AIを活用することをお勧めする。</p>
委員	<p>【市民アンケート】</p> <p>市民アンケートでは、自由意見欄が最後に一つだけ設けられているが、各項目に自由意見欄を設けてはどうか。</p> <p>「村上市の住み心地」についての自由意見や「暮らし」についての自由意見などをそれぞれ用意し、最後に全体としての意見を記入する欄を設けてはどうか。</p>

議事内容	
委員	<p>【移住者ヒアリング】</p> <p>移住者ヒアリングの対象者は、どのように抽出するのか。</p>
事務局	<p>【移住者ヒアリング】</p> <p>移住者には、自主的に移住した方に加え、転勤などにより自分の意志ではない形で移住した方も含める。</p> <p>自主的に移住した方については、市民課を窓口地域おこし協力隊などを紹介してもらい、依頼する予定。転勤などで移住された方については、地域経済振興課を通じて該当者に適した民間企業を選定し、依頼する予定。</p>
会長	<p>【実態調査全体】</p> <p>事務局は、本日の審議会での意見を踏まえ、アンケート案を修正し、11月上旬までには委員に改めて送付することとする。</p>

議事内容	
会長	4 議事 総合計画の政策分野別検証 [進行]
事務局	[資料説明]
会長	基本目標 1 子育てと健康のまち [進行]
委員	<p>【地域福祉、市街地・景観】</p> <p>市内にも様々な市民活動団体があり、行政とは異なるが、市民のために様々なサービスを提供している。これらは市民の暮らしを向上させる大変良い資源である。</p> <p>別の会議での交流からも村上市の宝だと感じている。しかし、以前市民活動に関わった際に感じたことだが、市民がいつでも利用でき、集まって話し合いや活動を行える場所がなかなか見つからず困ることがあった。そのため、地域福祉のために、市民活動や地域の人々の拠点となる場所の確保を意識していただきたい。</p> <p>具体的には、今後の村上総合病院の跡地を開発する際に、役割の決まった場所だけではなく、市民に開かれた共用できるスペースを設けることが必要ではないか。また、空き家を活用して市民活動のサロンのような居場所を整備することも有効だと思う。こうした環境づくりは、市民の力を伸ばしていく上で重要だと考える。</p>
会長	<p>【市街地・景観】</p> <p>村上総合病院の跡地開発の具体的な内容は決まっているのか。</p>
事務局	<p>【市街地・景観】</p> <p>民間の方から提案をいただきながら進めている。地域で勉強会を行い、話し合っている段階で、具体的な内容まではまだ決まっていない。</p>
委員	<p>【地域福祉】</p> <p>市民活動の場を作ったら、行政もそこに一緒に関わっていくべき。様々な市民が集まれる境目のない場所づくりが必要。</p> <p>お祭りの前などに神社や公民館で練習しているが、そのような活動ができる開かれた場所があっても良いのではないかな。</p>

議事内容	
会長	<p>【高齢者福祉】</p> <p>村上市は高齢化が進んでいる地域だと思う。だからこそ、得られた教訓を生かし、市として高齢者との向き合い方や高齢者を活かす方策を考える必要があるのではないか。</p> <p>高齢者というと、医療費などでお金が必要となるなどの意見が多いが、そうした視点だけでなく、子どもたちも輝きながら高齢者も輝ける方法があると思う。そのような政策を見出して計画に盛り込んでどうか。</p> <p>ただ単に、介護保険事業計画などで進めていきますという制度的な対応だけでなく、高齢者も輝ける村上市を目指すことも必要。元気な人がいつまでも元気であることが大切だと思う。そのような村上市を目指すことも必要なのではないか。</p>
委員	<p>【高齢者福祉】</p> <p>要介護予防も含めて、予防医療に関する取り組みを検討する予定はあるか。</p>
事務局	<p>【高齢者福祉】</p> <p>健康診断の受診促進を進めている。総合型地域スポーツクラブでは元気アップ教室や介護予防教室を、地域の茶の間など様々な場所で開催している。</p> <p>また、まちづくり協議会では高齢者の方が活躍している。学校では放課後子ども教室を開催し、高齢者が地域の子どもたちと一緒に時間を過ごす取り組みを行っている。</p>
委員	<p>【高齢者福祉】</p> <p>以前から「攻めの予防医療」について言われているが、総理の所信表明にも同じ言葉が盛り込まれていた。</p> <p>村上市独自の「攻めの予防医療」施策が実現すれば、他市のモデルになり得ると考えている。</p>
委員	<p>【高齢者福祉】</p> <p>先ほど宍戸会長が触れた高齢者が輝く政策についてだが、人生100年時代において高齢者は本当に元気だ。</p> <p>高齢者福祉の施策には認知症や介護といった「守る・支える」内容が中心だが、働く高齢者や民生委員として地域を支える人も多い。そうした高齢者が希望を持てる政策があれば良いと感じた。</p>

議事内容	
会長	<p>【高齢者福祉】</p> <p>高齢者が希望を持てる政策とは、高齢者が受け身ではなく、高齢者が能動的な主体になるということ。</p> <p>介護を受けたり認知症ケアのサービスを受けたりするだけでなく、高齢者が社会に貢献するということ。</p>
委員	<p>【障がい者福祉】</p> <p>以前、東京で障がい者の活動に関わっていた際、障がい者が遠慮するのではなく、自分たちのためにヘルパーを雇って自立生活をしたり、行政に声を上げてノンステップバスの導入を進めるなど、障がい者が積極的にまちづくり活動を行っていた。</p> <p>市の取組や成果、方針を見ると、行政からの支援という視点が主になっているが、市内に自立を目指す障がい者グループやまちづくりに参加・発言しようとするグループがあれば、行政はその機会を提供し、連絡を取り合い、障がい者自ら成長していけるよう支援する。そして障がい者を市の資源の一つとして考えることも必要ではないか。</p> <p>市のまちづくりに障がい者が参加してほしいと思う。障がい者が住みやすいまちは、高齢者や子どもにとっても住みやすいまちであると考えている。</p>
委員	<p>【高齢者福祉、障がい者福祉】</p> <p>高齢者福祉や障がい者福祉は対象者への政策中心なりがちだが、介護をしている家族や障がいのある家族を抱える家庭への支援にもっと目を向ける必要がある。しかし、取組や成果・方針にそうした視点が見られないのが気になる。</p> <p>また、介護のために仕事ができない場合もあるため、そのような人々に対する行政サービスについても検討が必要ではないか。</p>

議事内容	
会長	基本目標 2 豊かで安心なまち [進行]
委員	<p>【防犯・交通安全】</p> <p>「ながらパトロール」の登録者数が伸び悩んでいるとある。登録者にビブスやベストが配布されているようだが、これらを着用してまちを歩くことによって犯罪の防止や抑止を図る目的か。</p>
事務局	<p>【防犯・交通安全】</p> <p>普段の生活の中で地域を見守る活動となっている。</p>
委員	<p>【防犯・交通安全】</p> <p>「ながらパトロール隊」の取り組みは面白く、評価できると思う。「ながらパトロール隊」と聞くと市民はベストなどを着用してまちを巡回するイメージを持っているのではないか。車に貼るマグネットのようなものがあれば、登録へのハードルを下げられるのではないか。</p>
委員	<p>【防災】</p> <p>災害対策については、河川などすべてに対策を施すのは現実的ではなく、避難を前提とした対応が中心になるかと思う。</p> <p>そのため、自分の住んでいる地域が浸水想定区域に入っているかどうかを市民に周知徹底する必要がある。ハザードマップだと縮尺が大きく、市民は自分が住んでいるところが浸水想定区域なのかどうかを把握していない人が多いのではないか。例えば回覧版で地域のハザードマップを添付して回覧する方法などを用いることで、周知徹底が進み、水害発生時の人身被害防止につながると考える。</p>
委員	<p>【道路】</p> <p>道路関係で「通学路の安全対策」の記載があるが、具体的に何を行っているのか。</p>
事務局	<p>【防犯・交通安全、道路】</p> <p>市内の通学路に関する交通安全対策箇所一覧を市民課で取りまとめている。</p> <p>具体的な選定方法としては、通行者の意見などから危険個所を選定したものになる。交通量が多く、見通しが悪い箇所でカーブミラーが未設置の場合や、「止まれ」の表示を新たに設置する必要があるとの意見に対応している。</p>

議事内容	
委員	<p>【防犯・交通安全、道路】</p> <p>通学中の事故が発生した場所などのデータはあるのか。</p>
事務局	<p>【防犯・交通安全、道路】</p> <p>担当課で把握している可能性はあるが、現在手元にそのデータはない。</p>
委員	<p>【防犯・交通安全、道路】</p> <p>通勤時に村上郵便局の交差点を通るが、そこは小学校の通学路となっており、小学生の通行が多く見られる。</p> <p>こうした箇所を歩車分離式にすることで、事故を減らせるのではないだろうか。特に通学時間帯に小学生の交通量が多い場所については歩車分離式を検討しても良いのではないか。</p>
委員	<p>【市街地・景観】</p> <p>駅前のジャスコ跡地利用についてイオンリテールと協定を締結しているようだが、具体的な協定内容と進捗状況について、可能な範囲で伺いたい。</p>
事務局	<p>【市街地・景観】</p> <p>イオンリテールから無償で土地を提供していただき、イオンリテールも一緒にまちづくりを進める協定を締結した。</p> <p>進捗については、村上総合病院跡地構想の中で、市民や各団体の方から意見を伺いながら検討を進めている。</p>
会長	<p>【防災、消防・救急】</p> <p>各地で発生する大規模災害への対応となると、村上消防本部が応援に駆けつけことがあるが、逆に応援を受けることもあるかと思う。応援を受ける場合の計画（受援計画）は策定しているのか。</p> <p>村上市で災害が発生した際、他市から来た応援部隊にどのように支援してもらうのかを明文化した受援計画が必要だと思える。社会福祉協議会で既に策定している可能性はあるが、市としても受援計画を整備すべきだと思う。</p>
事務局	<p>【防災、消防・救急】</p> <p>過去の災害でも他市からの応援を受けた実績があるため、計画はあると思うので、確認して後日回答する。</p>

議事内容	
会長	<p>【防災、消防・救急】</p> <p>応援を受ける際にはこれまで何らかの対応はとってきたはず。その対応を計画という形で策定しておくことで、今度、応援を受ける際に、応援に来てくれた部隊と被災者をスムーズにつなげることができる。</p>
会長	<p>【公共交通】</p> <p>アンケートでは公共交通は必要だとの意見が出るが、実際の利用者は少ない状況。そろそろ、公共交通を今後も維持するかどうか、市民に判断してもらう時期に来ているのではないかな。</p> <p>人口減少が進み税収の増加が見込めない現状を踏まえれば、本当に維持する必要があるかどうかは市民に決めてもらう方法も選択肢として検討すべき。</p>
会長	<p>【防犯・交通安全、道路】</p> <p>通学路の交通安全について、市で実施している対策はカーブミラーの設置などハード面に着目した対策が中心だと思う。一方で、「みどりのおばさん(おじさん)」というようなソフト事業もある。</p> <p>担当部署は異なるかもしれないが、ハードとソフトを一体的に実施していく必要があるのではないかな。</p>
会長	<p>【生活衛生、上下水道、市街地・景観、住環境】</p> <p>横断的視点としてのPRについて。PRはP u b l i c（パブリック）R e l a t i o n s（リレーションズ）の略。一方向だけの「P」ではPRの半分にしかならない。市民との対話が重要。</p> <p>具体例を挙げると、ごみの減量では市民との対話を増やし、自制を促すことがパブリックリレーションズにおける役割。</p> <p>上下水道の老朽化対策も、最終的には料金に反映される問題であるため、パブリックリレーションズが必要。</p> <p>流域治水に関しても、先ほど水害発生時の避難行動に関する指摘もあったが、パブリックリレーションズを通じて自覚意識をもってもらうことが重要。</p> <p>市街地景観に関しては、先ほど事務局から村上総合病院跡地構想を進める際に市民の意見を聞いているとの報告があったが、市民を巻き込んだ検討会はまさにパブリックリレーションズの好例。こうした取り組みを引き続き継続してもらいたい。</p> <p>空き家対策についても、市民の自発的な対応を促すという観点から、市民とのパブリックリレーションズに力を入れていくべきではないかな。</p>

議事内容	
委員	<p>【防災】</p> <p>避難所運営に女性スタッフが関わることが重要。例えば、トイレや授乳コーナー、また、生理用品の要望など、男性には言いづらいニーズにも対応しやすくなる。</p> <p>女性のスタッフがいることで、女性も避難所で安心して過ごせる環境が作れると思う。</p>
委員	<p>【住環境】</p> <p>空き家バンクに関連して土地の境界をめぐる問題が多く発生しているため、安心して利用できず空き家の利用が進まないのではないかと。</p> <p>土地境界については、トラブルなく安心して利用できるように行政が関わることで利用促進につながるのではないかと。空き家を利用してトラブルになることで、利用者が遠のいてしまう場合もあると思うため、土地境界に関する対策も必要ではないかと。</p>
委員	<p>【防災】</p> <p>避難所での女性スタッフに関する発言があったが、障害者や外国人への配慮も必要だと思う。</p>

議事内容	
会長	基本目標3 魅力ある賑わいのまち〔進行〕
委員	<p>【農業】</p> <p>有機農業の普及と環境保全型農業の取り組みとある。国も有機農業の面積を現在の約50倍にしていると言っているが、その実現は難しいとの意見もある。村上市で現在、有機農業を実施している農家が多く、それを広げるということであればいいのだが、現状では担い手が減少し、大規模農家に農地が集まってきている状態。このような中で、手間のかかる有機農業を拡大するというのは難しいのではないかな。</p> <p>一方で、村上牛をはじめとする畜産が存在することを活かし、その堆肥を米や野菜の農家が利用する耕畜連携など、資源循環型の環境保全型農業の方が現実的なのではないかな。</p> <p>また、評価指標を見ると、一番成果が上がった指標は担い手の農地集積率であった。したがって、集積集約を重点的に加速させる方が良いのではないかな。</p>
委員	<p>【林業】</p> <p>林業については、デジタル技術やスマート林業などに重きを置いているようだが、これまでの取り組みを見ると、木育インストラクターの方が大幅に増えていることが分かる。まずはその人たちの活躍の場としての施策を考えた方が良いのではないかな。</p> <p>また、民間企業と連携した商品開発やエネルギー、バイオマスなど様々な施策があるが、現時点で林業に携わっている人たちの雇用と所得の充実に重点を置くことが大切ではないかな。間口をむやみに広げるよりも、林業に携わっている人の経営や所得というところに重点を置いた方が良いのではないかな。</p>
委員	<p>【水産業】</p> <p>水産業は成果指標の達成状況が良くない。人的リソースの不足が原因なのではないかな。林業同様にあまり間口を広げず、漁業者の所得向上に重点を絞った方が良いのではないかな。</p>
委員	<p>【観光】</p> <p>観光の成果指標を見ると観光客が増加しているものの、その増加が日本人によるものか外国人によるものかをまず把握する必要がある。</p> <p>今後の方針には、インバウンド富裕層を対象にするとあるが、どちらの観光客が主流かによってポイントを絞った方が良いのではないかな。</p>

議事内容	
委員	<p>【港】</p> <p>港については、今後の方針を見ると、木材の輸出拠点や洋上風力発電などのハード面に重点が置かれている。一方、これまでの取組実績を見るとイベント開催などソフト面での活動も行ってきたため、その情報発信の強化も次期計画に盛り込むべきことではないかと思う。</p>
副会長	<p>【農業】</p> <p>有害鳥獣捕獲に対応する方々の支援は大変良いことだと思うが、捕獲した鳥獣の加工場が無く、処理に困っているという声が聞かれる。</p> <p>せっきくの地元の資源であるため、これを有効活用する方法を考えるべきではないか。個人で加工場を整備するのはハードルが高いため、行政が整備支援を行うことを検討してみてはどうか。捕獲した鳥獣が利益につながる仕組みができれば、取り組み方も変わってくるのではないか。</p>
副会長	<p>【林業】</p> <p>かつて村上市には製材業者が多くあり、収益が上がっていたが、現在は林業の収益性低下に伴い製材業者が大幅に減少している。</p> <p>そのような中で、事業を承継した若手が販路拡大や新製品の開発に取り組んでいる状況。新しい商品を開発するのは良いことであるが、非常に難しく、商品開発には専門家の協力を得ることも有効だと思う。ただし民間コンサル等は費用がかかるため、国や県と連携して支援することも必要ではないか。</p>
副会長	<p>【観光】</p> <p>大阪・関西万博では村上市のおにぎりが非常に好評だったと聞いている。今後の方針に「関西方面のプロモーションや誘客事業を強化していく」とあるが、関西方面と関係性が築かれたということか。</p>
事務局	<p>【観光】</p> <p>万博参加を契機に、これまで行ってこなかった関西方面での物産展を開催した。これまで関西での村上市の知名度が低かったが、万博への参加を通じて関西の方々にも村上市のことを知っていただけたと考えている。</p> <p>そのため、万博終了後も物産展などは継続し、引き続き関西での販路拡大に努めていく方針。</p>

議事内容	
副会長	<p>【観光】</p> <p>アンテナショップなどの方法も考えられる。</p>
事務局	<p>【観光】</p> <p>おにぎりについては、象印のブースで万博開催期間を通じて提供するとともに、期間限定の「共創おにぎり」イベントでも提供し、村上市のおにぎりは非常に好評だった。象印は大阪におにぎり店を有しているため、万博で提供したおにぎりを同店で商品化できないか検討中。</p> <p>アンテナショップについては、市が新たに設けるのは難しいが、大阪の新潟県事務所と情報を共有していきたいと考えている。物産展は来年度も継続して実施する予定で、トキエアの神戸線も活用しながら取り組みたいと考えている。</p> <p>また、ふるさと納税については、関西からの寄付が前年度比で140%ほど増加しており、この流れを継続して進めていきたいと考えている。</p>
副会長	<p>【港】</p> <p>港に関しては、洋上風力に関心を持つ市民が多いと思うが、具体的な計画はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>【港】</p> <p>岩船港は洋上風力発電施設のメンテナンス港になる予定。</p>
副会長	<p>【港】</p> <p>メンテナンス業務は地元業者が実施するのか。</p>
会長	<p>【港】</p> <p>岩船港を利用してもらうのが始めの一步。そこから様々なビジネスチャンスが生まれると思う。</p>
委員	<p>【港】</p> <p>洋上風力発電施設のメンテナンス港として岩船港が活用されることは良いことだが、港までのアクセス手段や変電所などの関連設備の建設計画は具体化されているのか。</p> <p>また、メンテナンスには人材も必要。地域活性化という観点から、事業の進捗はどの程度事業は進んでいるのか。</p>

議事内容	
事務局	<p>【港】</p> <p>市としては、保守体制の構築を洋上風力の事業者に伝えている。また、地域振興対策として地域活性化につながる取り組みも協議を進めている状況。</p>

議事内容	
会長	基本目標4 人が輝く郷育のまち〔進行〕
委員	<p>【生涯学習】</p> <p>生涯学習は、子どもから高齢者までつながっている取り組み。幼児教育や学校教育も生涯学習の一部と捉え、それを踏まえて施策を検討することが大切ではないか。</p>
委員	<p>【文化芸術】</p> <p>市内に村上大祭などの祭りがあるが、行政はこれらの祭りにどのように関わっているのか。</p>
事務局	<p>【文化芸術】</p> <p>ユネスコの無形文化遺産登録に向けた動きがあり、村上まつり保存会の事務局は市職員が担当している。また、祭りの露天運営については市が行っている。</p>
委員	<p>【文化芸術】</p> <p>次期総合計画には、村上大祭などへの市の関わり方を明記するのか。</p>
事務局	<p>【文化芸術】</p> <p>市として村上まつりの保存に関わっていくこととなったため、次期企画では明記さると考えている。</p>
委員	<p>【学校教育】</p> <p>部活動の地域移行について、練習場所が近ければ参加しやすいが、遠い場合は家族の送迎が必要になり、居住地域による格差が生じると思う。どの地域に住んでいても子どもたちが希望する部活動に参加できるような対策も必要ではないか。</p>

議事内容	
委員	<p>【生涯学習】</p> <p>村上市は生涯学習や文化芸術、スポーツなどの資源の豊かな魅力のある地域だと思う。それらの素晴らしさに市民が気づき、発信できているかが問題ではないだろうか。</p> <p>やるべきことは総合計画の中で基本的には押さえていると思うが、今後の駅前再開発事業では、市民が自分たちのまちづくりに参加できる市民のためのスペースを作ってほしいと思う。例えば、若者が集まれる場所や市民活動ができる場所など。</p> <p>私が以前住んでいた東京の市役所では、新庁舎建設時に 1 階を大きいロビーにして市民に開放し、そこで市民主体の様々なイベントが開催されていた。イベントで興味深かったのは、昔からその地域に住む住民から街の古い写真を集めるイベント。郊外の新興住宅地に住む住民はふるさと意識のある市民は少ないが、イベントを通じて自分たちの街の昔の様子を見ることで、この市に住んでいる自覚が芽生えるきっかけになった。このようなイベントを開催する場所を行政が市民に提供した。</p> <p>村上市にも、そのような場所を駅前再開発で設けてほしいと思う。市民の交流や、市民が様々な活動を自由に行えるスペースは、行政が過度に関与しなくても、市民のアイデア次第で様々な活用が期待できる。</p>
委員	<p>【文化芸術】</p> <p>村上の祭りでは担い手が不足していると思う。村上の魅力を感じてもらうために、例えば大学生などを対象に「お祭り応援隊」のようなものを呼びかけて、村上の祭りを盛り上げていくのも良いのではないかな。</p>
委員	<p>【スポーツ】</p> <p>村上市出身のスノーボードやスケボーで活躍する選手がいることは大きな資源。</p> <p>和歌山県には蓑島モデルというものがある。蓑島高校という高校野球強豪校のOBが野球クラブチームを作り、地元のスーパーがスポンサーになり、市はそれをバックアップした。野球が好きな人が蓑島に集まり、市への定住を希望する若者も増加した。また、東京には下町ボブスレープロジェクトなどの活動もある。</p> <p>村上市には既にスケボーの練習場という資源があるため、市がバックアップしてクラブチームを作るのも良いのではないだろうか。</p>

議事内容	
委員	<p>【学校教育・スポーツ】</p> <p>部活動の地域移行について、村上市はスノーボードやスケートボードといった競技や、その大会を開催できる施設があるという強みを持っている。こうした強みを持つスポーツを重点的に支援する考え方もあると思う。</p> <p>また、スポーツを行う人だけでなく、スポーツ大会を開催するためには大会をサポートする人が必要となる。例えば、サポート役として今まで部活動に参加していた生徒にお願いし、地域活動に移行していく方法も考えられる。中学生、高校生がトップレベルの競技を間近で見たり、選手と交流したりすることは、非常に刺激になると思う。</p>
委員	<p>【文化芸術】</p> <p>文化芸術の今後の方針に「村上市文化財保存活用地域計画」が記載されているが、国や県の指定を受けた文化財には補助金が設定されている場合がある。市の限られた予算を有効に使うためにも、国や県の補助制度を積極的に活用することが重要。</p>
委員	<p>【生涯学習・文化芸術】</p> <p>工業高校にあるジュニアマイスター顕彰制度のような仕組みを参考に、村上の歴史や伝統に関して村上マイスター制度としてとして設け、デジタルバッチやオープンバッチを与える形で村上市を知ってもらい、あるいは関係人口を増やすというのも一つのアイデアではないか。</p>
会長	<p>【生涯学習・文化芸術】</p> <p>村上学や村上検定というものはあるのか。</p>
事務局	<p>【生涯学習・文化芸術】</p> <p>生涯学習課で地域学習講座を実施している。講座では、地域の歴史や文化について学び、地域に根付いた事柄について学習を行っている。</p>
委員	<p>【生涯学習・文化芸術】</p> <p>そういった取り組みを進化させることで、例えば村上検定などでデジタルバッチやオープンバッチを活用すれば、遠隔地の方にも村上市を知ってもらうことが可能になるのではないか。</p>

議事内容	
会長	基本目標5 多様性が広がるまち〔進行〕
委員	<p>【地域づくり】</p> <p>集落支援員の具体的な活動内容と人数は何人か。</p>
事務局	<p>【地域づくり】</p> <p>人数については令和6年度では村上市内全域で13名。各支所に2名ずつを基本とし、状況を見ながら人数を調整して配置していく。</p> <p>活動内容については手元に資料がないため、確認のうえ後日改めて回答する。</p>
会長	<p>【地域づくり】</p> <p>他の地域でよく見られる例としては、移住者や地元住民が行政とのつなぎ役を担っているケースがある。山形県では役場職員が集落に住んで役場と地域の課題を直接結び付けている事例もある。共通する機能は「地域と行政の結び付け」であり、村上市の場合はどのような人が集落支援員を務めているのか。</p>
事務局	<p>【地域づくり】</p> <p>地元住民が集落支援員として活動し、まちづくり協議会にも参加している事例がある。</p>
事務局	<p>【地域づくり】</p> <p>山北地域では、地域おこし協力隊を務めた人が任期終了後にそのまま定住して集落支援員となり、「しな布」の普及活動をしている例もある。</p>
会長	<p>【地域づくり】</p> <p>集落支援員は立場上、特別職の公務員となるのか。</p>
事務局	<p>【地域づくり】</p> <p>会計年度任用職員となる。</p>
委員	<p>【行政運営】</p> <p>職員改革と効率的な事務事業の推進のためウェルビーイングが掲げられていることは重要だと思う。</p> <p>職員自身のウェルビーイングが充実してこそ、仕事の取り組みも質の高いものになるため、ここにしっかりと注力して取り組んでもらいたい。</p>

議事内容	
委員	<p>【地域づくり】</p> <p>関係人口の創出について、もう一步踏み込んで、関わり方を意識してはどうか。スポーツや産業、あるいは仕事関係といった関わり方について分類できると良いと思う。</p> <p>関わり方を分類することで、例えば企業版ふるさと納税のメニューを工夫し、寄付額の増加につなげられるのではないかと考える。</p> <p>村上市の企業版ふるさと納税を見ると、スポーツ振興や子育て支援などのメニューがある。ここにさらに特色ある支援メニューを加え、特定分野への支援につなげられることが期待できると思う。</p>
委員	<p>【全体】</p> <p>村上市は資源と魅力がある。あとは、それをいかに活かすかということだと思う。自信をもって取り組んでいただきたい。</p>
会長	<p>議事終了。 進行を事務局へ。</p>
事務局	<p>5 その他 [進行]</p>
事務局	<p>6 閉会 [進行]</p>